

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千六百九十七號

海軍大臣官房

昭和十六年一月十五日(水)

○ 令 達

官房機密第三六二號

昭和十六年一月十五日

内令提
要登載

各鎮守府司令長官殿

海 軍 大 臣

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十五年官房機密第七四四三號別表中左ノ通改正ス
海軍潜水學校ノ項中「八雲」ノ下ニ「第十三驅逐
隊」ヲ加フ

(昭和十五年十一月十五日海軍公報(部内限)参照)

○ 辭 令

海軍大佐 三神 仲次郎

海軍航空本部ニ於ケル技術業務ヲ囑託ス

(各通)

南部 道康
高田 正司

海軍航空本部ニ於ケル技術業務ヲ囑託シ部内限奏任

官待遇トス(海軍省)

遞信屬 菅井 祿郎

第三海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信書記 杉山 一郎

第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信事務員 上妻 正雄
集配員 宮永 富次

(各通)

第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上十部同)

海軍省事務囑託

溝田 圭一

上海出張ヲ免ス

海軍省事務囑託

溝田 圭一

特務艦淺香丸ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額七千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通) 參千圓

峰尾 英一
植木 貢

特務艦淺香丸ニ於ケル業務ヲ囑託ス

貳千五百八拾圓

海軍公報(部内限) 第三千六百九十七號

昭和十六年一月十五日

五一

0532

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限委任官
待遇トス(以上十員同)

○ 雜 款

○司令掃海艇變更
第十一掃海隊司令ハ一月十三日司令掃海艇ヲ第十四號
掃海艇ヨリ第十三號掃海艇ニ變更セリ

○郵便物發送先
第四艦隊宛郵便物(航空郵便ヲ含ム)ハ横須賀郵便局
氣付トシ「軍事郵便」又ハ「軍事航空郵便」ノ指定ヲ
ナスコト
尙同隊附屬部隊(艦船ヲ除ク)宛ノモノハ軍務二機密
第一〇〇六號(十月十日附海軍公報(部内限))ニ依リ
所在地區別符及部隊區別符表ヲ使用スルコト

當隊準備委員事務所ヲ昨年十二月二十六日ヨリ神戸市
三菱造船所萬洋丸内ニ置キ事務ヲ開始セルモ當隊宛ノ
書類ニシテ往々萬洋丸金剛丸宛ノモノト混同シアリス
クテハ事務處理上確實ヲ缺キ遲延尠ザルニ付自今左記
ニ依リ送付相成度

記

司令宛 神戸市兵庫郵便局氣付 萬洋丸司令
隊宛 同 萬洋丸司令部

追テ本月二十日迄到着見込ノモノハ
其ノ後ハ
右 同
吳郵便局氣付
(第二砲艦隊準備委員)

○事務所設置
海軍航空技術支廠(假稱)、木更津海軍航空廠(假稱)
各設立準備委員事務所ヲ一月十五日海軍航空技術廠内
ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務開始
第一海軍軍需部ハ一月十五日上海東百老匯路八八〇(元
上海海軍軍需品供給所)ニ於テ事務ヲ開始セリ
所屬機關及郵便物發送先左記ノ通
記

所屬機關名	所在地	郵便物發送先
第一海軍軍需部(本部)	上海	佐世保郵便局氣付
同 漢口支部	漢口	同
同 青島支部	青島	同
同 南京配給所	南京	同
同 九江配給所	九江	同

第一海軍經理部ハ一月十五日上海東百老匯八八〇號(舊上海駐在海軍主計科士官事務所)ニ於テ事務ヲ開始セリ

○開設
第十九航空隊事務所ヲ一月十五日横須賀海軍航空隊内ニ開設セリ

○試験問題發送
第四期丙種飛行豫科練習生採用試験問題
右一月九日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急御通知相成度

記
一、單獨試験豫定ノ各部ハ直送
二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部長、各要港部副官宛送付
三、行動其ノ他ノ都合ニ依リ聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分及豫備トシテ各海軍人事部長、各艦隊副官、各要港部副官、各根據地隊副官宛若干部送付セリ
(第十一聯合航空隊司令部)

○正誤
本月十三日海軍公報(部内限)別表海軍遺獨軍事視察團表中「海軍造兵中佐伊藤庸二」ノ次ニ「海軍技師西武雄」ヲ脱シ、「萩尾重樹」ハ「舟木善郎」ノ誤(済)

0534

○艦船所在

△印ハ「公ホ」ノ
指定ヲ要セズ

○一月十五日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、

神威

潮▲

隴▲

霜▲

澤風

伊吹▲

岩谷▲

尻矢

翔鶴▲

(津輕)▲

(伊二三)▲

(伊七)▲

(伊三三)▲

國後、▽多摩

伊一三三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

香椎▲

(筑紫)▲

(萩風)▲

(濱風)▲

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

大泊

吳

淺間、妙高▲、扶桑▲、八雲、

勝利▲、▽鬼怒

薄雲▲、吳竹、早苗、若竹

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊六

伊五五▲、伊五六▲、伊六一▲、伊六二▲

伊七二▲、伊一二二、伊一二一

掃一四、掃一三、掃一五、掃一六

驅潜五三

哨四六

櫻野▲

(日進)▲

(伊九)▲

(伊二七)▲

(伊三五)▲

球磨▲

隱戸▲

(谷風)▲

大井▲

瑞鶴▲

(伊二〇)▲

(伊一九)▲

(伊二二)▲

(伊二二)▲

(伊二五)▲

(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月▲

因ノ島

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

嵐

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

金剛▲

榛名▲

龍宮▲

瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲

呂三一▲

呂三二▲

伊三九▲

伊六〇▲

伊五九▲

伊六五▲

伊六六▲

哨三八▲

哨三九

【大阪】

神戶

【玉】

【因ノ島】

【佐伯】

【舞鶴】

【佐世保】

【古江】

【長崎】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

【野島】

0535

海軍公報(部内限)第三千六百九十七號

昭和十六年一月十五日

五五

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千六百九十八號

海軍大臣官房

昭和十六年一月十六日(木)

○通牒

海人第九號ノ三

昭和十六年一月十五日

海軍省人事局

關係各廳御中

離現役士官ノ電報符ニ關スル件通知

離現役又ハ進級等ニ依リ在郷海軍士官名簿ニ登載又ハ訂正セラルベキ左記ノ者ニ對スル電報符ヲ頭書ノ通定メラレ候

記

一、新ニ登載スベキモノ

電報符	役種	官名	氏名
「一四九ノ二	豫中	將	中村龜三郎
「一五一ノ二	同	同	氏家長明
「一六三ノ三	同	同	星壘守一
「一六五ノ五	同	同	杉山俊亮
「一六五ノ六	同	同	水戸春造
「一六七	同	同	廣瀬正經
「一七〇	同	同	若荷秀雄
「一七一	同	同	宍戸好信
「一七二	同	同	桑折英三郎
「四九一ノ三	同	少將	寺田幸吉
「四九一ノ四	同	同	中杉久治郎
「四九一ノ五	同	同	三竝貞三
「四九八ノ三	同	同	山田清
「五〇一ノ二	同	同	土田喜久次
「一一〇五ノ二	同	大佐	安住義一

海軍公報(部内限)第三千六百九十八號

昭和十六年一月十六日

五七

0537

"一五〇	同	同	舟木重利	"三五五九	後	機關少佐	宮西金次
"一一五一	同	同	深町讓	"三五六〇	同	同	中澤貞良
"一五七四	同	中佐	菊部健太郎	"三六一六	豫	機關大尉	酒井鐵太郎
"一八一八	後	少佐	吉村重右衛門	"三六一七	同	同	森利民
"一八一九	同	同	河本傳太	"四〇六三	同	軍醫少將	原隼人
"一八二〇	同	同	野口保一	"四〇六五	同	同	上原純之助
"一八二一	同	同	松井庄太郎	"四一七一ノ二	同	軍醫大佐	沓掛諒
"一八二二	同	同	猪熊清次郎	"五〇二ノ二	同	主計中將	荒木彦弼
"一八二三	同	同	渡邊國之助	"五〇一四	同	同	茂木知二
"一九二四ノ二	豫	大尉	林要之助	"五二五六ノ二	同	主計中佐	淺井益一
"一九二四ノ五	同	同	追水宏	"五三〇七	後	主計少佐	上田卷二
"一九二四ノ六	同	同	木場一丸	"五四八二ノ二	豫	造船大尉	木下昌雄
"一九九三	同	中尉	藤岡清孝	"五五一九	同	造機少將	新井政太郎
"三二七〇ノ二	同	機關大佐	嘉納吉彦	"五六〇七	同	造兵中將	松岡倅躬
"三四五八ノ二	同	機關中佐	河野仲次	"五六〇八	同	同	向山均

0538

新電報符	舊電報符	役種	官	氏名
二、訂正スベキモノ	同	造兵少將	杉山	金作
〃五六二〇	〃五六二〇	同	同	同
〃一六五ノ七	〃一六五ノ五	豫	中	將熊岡讓
〃一六五ノ八	〃一六五ノ六	同	同	宮田義一
〃一六八	〃一六七	同	同	戸荻隆始
〃一六九	〃一六八	同	同	朝隈彦吉
〃四八六ノ二	〃四八六ノ一	同	少	將岸本鹿子治
〃四八六ノ三	〃四八六ノ二	同	同	鈴木新治
〃四八六ノ四	〃四八六ノ三	同	同	藤森清一朗
〃一〇五ノ三	〃一〇五ノ二	同	大	佐堀内馨
〃一九三ノ三	〃一九三ノ二	同	大	尉滿田稔
〃一九四ノ七	〃一九四ノ一	同	同	豊坂早苗
〃一九四ノ四	〃一九四ノ三	同	同	池谷井
〃一九四ノ八	〃一九四ノ四	同	同	江成五郎
〃四〇六四	〃四〇六三	同	同	軍醫少將都築正男
〃四五五七	〃四六六二	同	同	軍醫大尉須永求馬
〃四五五八	〃四六六四	同	同	有賀康雄
〃四五五九	〃四六七二	同	同	市川竹男
〃四五六〇	〃四六七九	同	同	仁藤勝夫
〃四五六一	〃四六八二	同	同	山内玄夫
〃四五六二	〃四六九三	同	同	木村保
〃四五六三	〃四六九〇	同	同	原薫
〃五四九九	〃五四八五	退	同	造船中尉數田春魚
〃五六二一	〃五六二〇	豫	同	造兵少將稻田虎彦

○ 辭 令

南支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (廿五年海軍省)
 森 裕 平
 南支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (廿五年海軍省)
 金田 武治
 (廿五年同)

海軍公報(部内限) 第三千六百九十八號 昭和十六年一月十六日 五九

0539

南支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(附註ニ同) 關 澤 明

海軍航空本部出仕兼造兵監督官海軍機關大佐 近 藤 一 馬

東京監理官ヲ命ス

廣海軍工廠航空機部検査官兼海軍航空本部造兵監督官海軍機關中佐 乘 原 陸 美

廣島監査官ヲ命ス

海軍航空技術廠兵器部部員兼横須賀海軍航空隊教官海軍航空本部造兵監督官海軍機關少佐 伊 澤 達 雄

東京監理官ヲ命ス

海軍航空本部造兵監督官海軍技術師 關 口 武 夫

東京監理官ヲ免ス

鐵道局書記 永 井 政 次 郎

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金百五拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク(以上ニ同)

海軍少將 山 縣 正 郷

海軍航空本部教育部長海軍少將酒卷宗孝海軍遣獨軍

事視察團員トシテ出張不在中同職代理ヲ命ス(附註ニ同)

海軍航空本部)

0540

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月十六日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、
神威▲、潮▲、隴▲、雷▲、澤風

伊六▲、宗谷▲、尻矢

【翔鶴】(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲

【長浦】

磯風、浦風

伊一二三、伊一二四

【横濱】

電▲、哨一、哨二

【浦賀】

(香椎)▲、(筑紫)▲、
(萩風)▲、(濱風)▲

【大湊】

神風、沼風、野風、波風

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、八雲、
勝力▲、三隈、▽鬼怒

薄雲▲、伊五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊三▲

伊五三▲、伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲

伊七二▲、伊一二三、伊一二一
掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

【大阪】

球磨▲、日進▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

【神戸】

大井▲、(谷風)▲

【玉】

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二一)▲、
(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

【因ノ島】

三日月▲、(石垣)▲

【佐伯】

驅潜五一、驅潜五二

【舞鶴】

哨三一、哨三二、哨三三

【佐世保】

哨三六、哨三七

【長崎】

野島▲、(八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲

羽黑▲、(野分)▲、(伊六〇)▲、(伊五九)▲、(伊六五)▲、(伊六八)▲

衣笠▲、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲

海軍公報(部内限)第三千六百九十八號

昭和十六年一月十六日

六一

0541

【古江】
【鎮海】
【作業地】

沖風、芙蓉
 勢多、堅田、保津、隅田、橋立、口占守、足柄、磯峨、口名取、口磐手、口長門、陸奥、口日向、伊勢、口比叡、霧島、口加古、古鷹、青葉、口阿武隈、口川内、口龍磯、鳳翔、口千歳、口代田、瑞穂、口高雄、愛宕、鳥海、摩耶、口那智、口熊野、口鈴谷、最上、利根、筑摩、口神通、口那珂、口加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、口鹿島、龍田、天龍、口沖島、常磐、口夕張、迅鯨、口香取、大鯨、口長鯨、口五十鈴、駿島、八重山、口北上、口由良、栗、梅、蓮、刈萱、峯風、口春風、旗風、松風、朝風、口文月、早月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、口白露、時雨、有明、夕暮、口初雪、白雪、吹雪、口白雲、東雲、叢雲、口綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、狹霧、天霧、朝霧、口秋風、羽風、太刀風、夕風、口帆風、沙風、口卯月、夕月、菊月、口追風、疾風、夕風、朝風、口響、曉、口漣、口早潮、夏潮、親潮、黑潮、口初風、雪風、天津風、時津風、口霞、霧、陽炎、不知火、口夕立、村雨、春雨、五月雨、口朝雲、山雲、峯雲、夏雲、口海風、涼風、江風、山風、口大潮、荒潮、滿潮、朝潮、口睦月、如月、望月、彌生、矢風

【航海中】

早靱 (十二月十一日 桑港發 | 佐世保へ)
 石廊 (十二月十七日 桑港發 | 吳へ)
 知床 (十四日 横須賀發 | 佐世保へ)

呂三三、呂三三、呂六二、呂六〇、
 呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、
 呂六五、呂六六、呂六七、呂八二、
 伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、
 伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、
 伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、
 伊六六、伊六九、伊七〇、伊七三、
 伊七四、伊七五
 鴻、隼、鴨、鶴、雁、鳩、鷲、雉、
 初雁、真鶴、友鶴、千鳥
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、
 掃一〇、掃一一、掃一二
 驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、
 攝津、間宮、襟裳

0542

海軍公報 (部内限) 第三千六百九十九號

昭和十六年一月十七日 (金)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第四〇八號

昭和十五年官房機密第六七八五號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

第三遣支艦隊	舞鶴鎮守府	ヲ
第三遣支艦隊	舞鶴鎮守府	ヲ
第十一航空艦隊	佐世保鎮守府	ヲ
第一根據地隊	佐世保鎮守府	ヲ
第一根據地隊	佐世保鎮守府	ヲ
第二根據地隊	舞鶴鎮守府	ニ、
第五根據地隊	横須賀鎮守府	ヲ

(昭和十五年十月十五日本閣参照)

官房機密第四〇九號

昭和十五年官房機密第六七八六號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

第七航空戰隊	吳鎮守府	ヲ
第七航空戰隊	吳鎮守府	ヲ
第二十二航空戰隊	佐世保鎮守府	ニ改ム

(昭和十五年十月十五日本閣参照)

官房機密第四一〇號

昭和十四年官房機密第七四七〇號中第一聯合航空隊乃

海軍公報 (部内限) 第三千六百九十九號

昭和十六年一月十七日

六三

0543

至第四聯合航空隊ノ項ヲ削ル

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

(昭和十四年十二月一日及昭和十五年十一月十五日日本閣參照)

官房機密第四一號

第六防備隊、第六通信隊及第十九航空隊ノ職員中特務士官以下ハ海軍特務士官准士官配屬命規則第四條及海軍下士官兵定員補充交代規則第一條ノ規定ニ拘ラズ佐世保鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

官房第二五二號

潜水艦調査委員會規程中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十六日

海軍大臣

第三條中「海軍艦政本部總務部第一課長 部員五人」ヲ「海軍艦政本部總務部第一課長 部員六人」ニ改ム

(諸例則卷一、七三三ノ一頁參照)

海軍諸例
則登載

○ 雜 款

○將旗移揚
第六根據地隊司令官ハ一月十五日將旗ヲ大同丸ニ掲揚セリ

○將旗一時移揚
第二遣支艦隊司令長官ハ一月十四日將旗ヲ一時占守ニ移揚セリ

○司令潜水艦一時變更
第二十八潜水隊司令ハ一月六日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十九潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 司令宛 | 第十三號掃海艇 |
| 隊機關長宛 | 第十四號掃海艇 |
| 軍醫長宛 | 第十五號掃海艇 |
| 主計長宛 | 第十四號掃海艇 |
| 尙司令宛ニシテ直接各艇長ヘモ關係アルモノハ各艇長宛寫送付相成度 | |

(第十一號掃海隊)

當隊宛郵便物ニシテ一月二十一日以後到達見込ノモ

0544

ノハ左記ニ依リ發送相成度

記

司令宛
隊機關長、軍醫長宛
主計長宛

(第七驅逐隊)

潮 隴 略

○郵便物送付先ニ關スル件照會
今回當隊豐國丸ト同名ノ汽船徵備相成リ居リ候爲相互
ニ書類ノ誤送サル、モノ不勤執務上支障有之候條旨今
當隊及豐國丸宛郵便物ハ「佐世保局氣付 第十三砲艦
隊」ト明記相成度
尙從來第十三砲艦隊、第三砲艦隊ト誤記ノモノ有之候
條發送ニ當リテハ十分留意相成度
(第十三砲艦隊)

○事務開始

第六十二驅潛隊ハ一月十五日桂丸ニ於テ事務取扱ヲ開
始セリ

第二海軍經理部ハ一月十五日佐世保海軍經理部内ニ於
テ事務ヲ開始シ、同月三十一日佐世保發不取敢海口ニ
進出ノ豫定
支出官事務及歳入徵收官事務ノ開始ハ海口ニ到着準備
完了後トス

○特務艦襟裳行動豫定表

地名 着

吳 尼 佐 吳
地 世 世 尼
名 ケ 保 崎 名
一月二十八日
二月一日
二月五日

發

一月二十七日
二月三十日
二月二日

0545

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

○一月十七日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、

神威▲、龍田▲、天龍

曙▲、潮▲、龍▲、雷▲、電▲、澤風

伊六▲

宗谷▲、尻矢

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲

(伊三三)▲

國後、多摩

磯風、浦風

伊一二三、伊一二四

驅潜一三

哨一、哨二、

(香椎)▲、(筑紫)▲

(萩風)▲、(濱風)▲

哨三四、哨三五

大泊

【吳】 淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈、

鬼怒

薄雲▲、吳竹、早苗、若竹

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊三▲

伊五三▲、伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲

伊七二▲

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五三▲、驅潜四、驅潜五、驅潜六、

【大阪】

(日進)▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

球磨

隱戸

(谷風)▲

大井

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

八雲

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾▲

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三九▲

伊六〇▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲

哨三八▲、哨三九▲

敷島

(八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲

野島

沖風

驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二

哨四六

櫻野

【神戸】

【玉】

【因ノ島】

【安下庄】

【佐伯】

【舞鶴】

【長崎】

【古江】

海軍公報(部内限)第三千六百九十九號

昭和十六年一月十七日

六七

0546

【鎮海】朝顔、芙蓉

【作業地】口出雲、口伏見、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、口占守、足柄、嵯峨、口名取、口磐手、口長門、陸奥、口日向、伊勢、口比叡、霧島、口加古、古鷹、青葉、口阿武隈、口川内、口龍驤、鳳翔、口千歲、千代田、瑞穂、口高雄、愛宕、鳥海、摩耶、口那智、口熊野、口鈴谷、最上、口利根、筑摩、口神通、口那珂、口加賀、口飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、口鹿島、口沖島、常磐、口夕張、口迅鯨、口香取、口大鯨、口長鯨、口五十鈴、口嚴島、八重山、口北上、口由良

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、口春風、旗風、松風、朝風、口文月、阜月、水無月、長月、口若葉、初春、初霜、子日、口白露、時雨、有明、夕暮、口初雪、白雪、吹雪、口白雲、東雲、叢雲、口綾波、浦波、磯波、敷波、口夕霧、狹霧、天霧、朝霧、口秋風、羽風、太刀風、夕風、口帆風、夕風、口菊月、卯月、夕月、口追風、疾風、夕風、朝風、口響、曉、口漣、口早潮、夏潮、親潮、黑潮、口初風、雪風、天津風、時津風、口霞、霞、陽炎、不知火、口夕立、村雨、春雨、五月雨、口朝雲、山雲、峯雲、夏雲、口海風、涼風、江風、山風、口大潮、荒潮、滿潮、朝潮、口睦月、如月、望月、彌生、矢風

口呂三四、呂三三、口呂六一、呂六〇、

【航海中】

早稱 (十二月十一日桑港發—佐世保へ)
 石廊 (十二月十七日桑港發—吳へ)
 知床 (十四日横須賀發—佐世保へ)
 口神風、沼風、野風、波風、伊五二 (十六日大湊發—陸奥海灣へ)
 口伊一二二、伊一二二 (十六日吳發—伊豫灘へ)

呂六一、口呂六三、呂六四、呂六八、
 口呂六五、呂六六、呂六七、口伊二、伊一、
 口伊五、伊四、伊七、伊八、口伊一五、
 伊一六、伊二〇、口伊五五、伊五四、
 口伊五六、伊五七、口伊六二、伊六四、
 口伊六六、口伊六九、伊七〇、口伊七三、
 口伊七四、伊七五
 口鴻、隼、鴨、鵠、口雁、鳩、鷺、雉、
 口初雁、真鶴、友鶴、千鳥
 掃一七、掃一八、口掃六、掃一、掃二、
 掃三、掃四、掃五、口掃七、掃八、掃九、
 掃一〇、掃一一、掃一二
 口驅潛三、驅潛一、驅潛三、口驅潛七、
 驅潛八、驅潛九
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、
 攝津、間宮、襟裳

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年一月十七日(金)
海軍大臣官房

○通牒

第十四航空機密第二二號ノ一三一

昭和十五年十二月二十日

第十四航空隊司令

關係各所轄長殿

履歷記註事項ノ件通知

自昭和十四年十一月七日 期間當隊ニ勤務セシ者ニ對シ左記
至昭和十四年十二月四日 期間當隊ニ勤務セシ者ニ對シ左記
感謝狀贈與ニ關スル履歷記註ノ上海軍准士官以上履歷
書及身上取扱規則第七條及海軍下士官兵身上取扱規則
第八條ニ依リ處理相成度

記

昭和十四、一四、二二、六

昭和十四年十一月第二十一軍南寧方面攻略作戦協力
ニ對シ安藤第二十一軍司令官ヨリ感謝狀贈與

第十四航空隊

海軍公報(部内限)號外

昭和十五年十一月十日

第十五航空隊司令

關係各所轄長殿

履歷記註事項ノ件通知

當隊ヨリノ轉勤者ニ對シ左記ノ通履歷記註ノ上海軍准
士官以上履歷書及身上取扱規則第七條海軍下士官兵身
上取扱規則第八條ニ依リ處理相成度

記

一、自昭和十五年五月十九日 期間勤務者
至同 年九月十六日

感謝狀

聯合空襲部隊指揮官ノ指揮セシ

第一聯合航空隊

第二聯合航空隊

第十五航空隊

第十四航空隊戰鬥機隊ノ一部

昭和十五年五月中旬ヨリ九月上旬ニ至ル四箇月ノ長期
ニ互リ一〇一號作戦ニ參加シ其ノ雄大ナル攻撃力ヲ集
中シテ大舉長驅四川省ノ奧地攻撃ヲ敢行スルコト四十

回ニ及ヒ絶大ナル戦果ヲ收メタリ此ノ間攻撃部隊ハ天象地象ノ障碍ヲ克服シ陸上偵察機ノ巧妙ナル協力ニ依リ敵第一線空軍兵力ノ大部ヲ撃滅シ又重慶ノ軍事政治重要機關ヲ攻撃シテ概ネ之ヲ廢墟トナシ以テ殆ト首都タルノ機能ノ大部ヲ喪失セシメタリ之カ爲敵ハ物心兩方面ニ甚大ナル打撃ヲ蒙リ重慶政府ハ將ニ潰滅ニ陥ラントスルニ至レリ本作戦ハ帝國戦史空前ノ壯舉ニシテ武勳極メテ顯著ナリ

特ニ中環攻撃機隊ハ十月十八日以降滇緬公路再開スルヤ天候ノ障碍ヲ排除シ機ヲ逸セズ之カ攻撃ヲ敢行シ其ノ要衝タル功果橋及惠通橋ヲ二重要吊橋ヲ爆碎シ完全ニ之ガ遮斷ニ成功シ又十月二十六日「ロイウイン」所在ノ敵ノ主要飛行機製作所ヲ空襲シ之ニ潰滅的損害ヲ與ヘタリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年九月二十一日
支那方面艦隊司令長官 嶋田 繁太郎

昭和十五年十月三十一日
支那方面艦隊司令長官 嶋田 繁太郎

一、自昭和十五年九月二十日
至同 年十月三十日 期間勤務者

感 状

第三聯合航空隊

昭和十五年九月末ヨリ十月末ニ至ル期間克ク萬難ヲ排シ其ノ全兵力ヲ擧ゲテ長驅雲南方面ノ攻撃ヲ反覆敢行スルコト十一回ニ及ベリ此ノ間偵察機隊ハ惡天候ヲ冒シ複雑ナル地形ヲ克服シ克ク敵情ヲ詳ニシ戦闘機隊ハ雲南方面ノ第一線空軍ヲ奇襲撃滅シ各攻撃機隊ハ昆明方面ノ敵主要軍事施設ヲ爆撃甚大ナル損害ヲ與ヘタリ

二聯合第三號ノ一三五

昭和十五年十二月十五日

第二聯合航空隊參謀

關係所轄長殿

履歷記註事項ノ件通知

左記各期間當司令部(上海航空部隊ヲ含ム)ニ勤務セシ者ニ對シ感狀記事履歷記註ノ上海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第七條、海軍下士官兵身上取扱規則第八條ニ依リ處理相成度

記
一、自昭和十五年五月九日當司令部（上海航空部隊ヲ含ム）勤務者ニ對スルモノ

感 狀

聯合空襲部隊指揮官ノ指揮セシ

- 第一聯合航空隊
- 第二聯合航空隊
- 第十五航空隊
- 第十四航空隊戰鬥機隊ノ一部

昭和十五年五月中旬ヨリ九月上旬ニ至ル四箇月ノ長期ニ亙リ一〇一號作戰ニ參加シ其ノ雄大ナル攻撃力ヲ集中シテ大舉長驅四川省ノ奧地攻撃ヲ敢行スルコト四十回ニ及ヒ絶大ナル戰果ヲ收メタリ
此ノ間攻撃部隊ハ天象、地象ノ障礙ヲ克服シ陸上偵察機隊ノ巧妙ナル協力ニ依リ敵第一線空軍兵力ノ大部ヲ擊滅シ又重慶ノ軍事政治重要機關ヲ攻撃シテ概ネ之ヲ廢墟トナシ以テ殆ント首都タルノ機能ノ大部ヲ喪失セシメタリ之カ爲敵ハ物心兩方面ニ甚大ナル打擊ヲ蒙リ重慶政府ハ將ニ潰滅ニ陥ラントスルニ至レリ
本作戦ハ帝國戰史空前ノ壯舉ニシテ武勳極メテ顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年九月二十一日

支那方面艦隊司令長官 嶋田繁太郎

二、自昭和十五年九月六日當司令部（上海航空部隊ヲ含ム）勤務者ニ對スルモノ

感 狀

第二聯合航空隊

昭和十五年九月中旬ヨリ十月下旬ニ至ル期間克ク天候ノ障礙ヲ排除シ全兵力ヲ舉ケテ長驅四川ノ要衝重慶成都方面ニ對シ十數回ニ亙リ空襲ヲ敢行セリ
此ノ間偵察機隊ハ萬難ヲ排シ常ニ敵情ヲ詳ニシ戰鬥機隊ハ巧ニ敵空軍ヲ殲滅シ各攻撃機隊ハ晝夜攻撃ヲ反覆シ重慶方面殘存軍事施設並ニ成都ノ主要軍事施設ノ大部ヲ覆滅シ以テ敵ニ對シ物心共ニ絶大ナル打擊ヲ與ヘタリ
右ハ本年五月以降四川方面ニ對シ實施セル航空作戰有終ノ美ヲ收メタルモノニシテ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年十月三十一日

支那方面艦隊司令長官 嶋田繁太郎

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七百號

昭和十六年一月十八日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第三六〇號

伯林及羅馬ニ於ケル日獨伊混合専門委員會ニ屬スル海軍職員ノ服務等ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年一月十五日

海 軍 大 臣

内令提
要登載

第一條 伯林又ハ羅馬ニ於ケル日獨伊混合専門委員會ノ帝國委員又ハ帝國隨員ハ部内限夫々在伯林海軍委員、在羅馬海軍委員、在伯林海軍隨員又ハ在羅馬海軍隨員ト稱ス

第二條 在伯林海軍委員又ハ在羅馬海軍委員ハ伯林又ハ羅馬ニ於ケル日獨伊混合専門委員會ノ關係事務ヲ掌理ス

第三條 伯林及羅馬ニ於ケル日獨伊混合専門委員會ノ關係事務ノ統一ヲ必要トスル場合ニ於テハ兩委員中ノ首席者之ニ任ズ

第四條 在伯林海軍委員及在羅馬海軍委員ハ必要ニ應

ジ左ノ者ノ中ヨリ臨時委員ヲ任命スルコトヲ得

一 獨國又ハ伊國駐在武官

二 獨國又ハ伊國ニ出張ヲ命ゼラレタル造船監督

官、造兵監督官及造船造兵監督會計官

第五條 在伯林海軍委員及在羅馬海軍委員ハ必要ニ應

ジ左ノ者ノ中ヨリ委員附ヲ任命スルコトヲ得

一 獨國又ハ伊國在勤帝國大使館附武官ニ屬スル判

任官

二 獨國又ハ伊國ニ出張ヲ命ゼラレタル造船監督助

手、造兵監督助手及造船造兵監督書記

三 其ノ他海軍部内ノ判任文官又ハ海軍省囑託ニシ

テ日獨伊三國條約關係事務ニ従事スル爲特ニ歐洲

ニ出張ヲ命ゼラレ主トシテ伯林又ハ羅馬ニ於テ執

務スル者

第六條 隨員及臨時委員ハ各委員ノ命ヲ承ケ服務ス

第七條 委員附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

海軍公報 (部内限) 第三千七百號 昭和十六年一月十八日

六九

0551

官房第二八六號

當分ノ間艦船部隊(特設ノモノヲ含ム)ニ勤務スル者ニハ海軍給與令施行細則第二十表、第二十表ノ二又ハ第二十表ノ三ニ依ルノ外別表ニ依リ糧食ヲ増給スルコトヲ得

昭和十二年官房第四四九〇號ハ之ヲ廢止ス(濟)

昭和十六年一月十八日

海軍大臣

(別表添)

(參照) 昭和十二年官房第四四九〇號(昭和十二年八月三十日海軍公報(部内限))

○通牒

經物第八九號

昭和十六年一月十七日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

重要ナル器具及備品ノ保管轉換ニ關スル件通牒

自今海軍通常物品會計規程第二十二條但書ニ依ル重要ナル器具及備品トハ價格五千圓以上ノモノヲ標準トス

ル義ト承知相成度

○辭令

(各通)

- 海軍中將 浮田 秀彦(艦本)
- 海軍中佐 加藤 行雄(吳廠)
- 同 大山 豊次郎(伊九潛)
- 同 曾田 隆宗(艦本)
- 同 藤本 博(同右)
- 同 長 澤 浩(軍令)
- 同 堀之内 美義(軍務)
- 同 岡 三知夫(艦本)
- 同 渡邊 薰雄(航本)
- 同 中山 義則(艦本)
- 同 上野 利武(伊九潛)
- 海軍機關中佐 熱田 佐太郎(艦本)
- 同 高城 生一(吳艦)
- 同 宮澤 省吾(艦本)
- 同 松本 正彦(吳鎮)
- 同 本橋 精一(吳廠)
- 海軍機關少佐 森下 陸一(軍務)

<p>同 堀 一郎(艦 本)</p> <p>同 岸 本 健 雄(伊九潜)</p> <p>海軍造船少佐 富田 龜 郎(艦 本)</p> <p>伊號第九潜水艦審議委員ヲ命ス(下記海軍艦政本部)</p>	<p>○司令旗掲揚</p> <p>第三砲艦隊司令ハ一月十五日司令旗ヲ阿蘇丸ニ掲揚セリ</p>	<p>第五十三驅潜隊司令ハ一月十五日司令旗ヲ五三一號驅潜艇ニ掲揚セリ</p>	<p>○將旗移揚</p> <p>第一遣支艦隊司令長官ハ一月十五日將旗ヲ伏見ニ移揚セリ</p>	<p>○代將旗掲揚</p> <p>第二根據地隊司令官ハ一月十五日代將旗ヲ第三十一號砲艦ニ掲揚セリ</p>	<p>○旗艦指定</p> <p>第二根據地隊司令官ハ一月十五日旗艦ヲ南浦丸ニ指定セリ</p>
<p>○司令驅逐艦變更</p> <p>第二十三驅逐隊司令ハ一月十五日司令驅逐艦ヲ卯月ヨリ菊月ニ變更セリ</p>	<p>○司令潜水艦一時變更</p> <p>第二十八潜水隊司令ハ一月六日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十九潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ</p>	<p>當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度</p> <p>司令宛 記 典 嶺 丸</p> <p>隊機關長宛 第二京丸</p> <p>軍醫長宛 第十一京丸</p> <p>主計長宛 典 嶺 丸</p> <p>各東舞鶴郵便局氣付 (第五十三驅潜隊)</p> <p>當隊(艦船ヲ除ク)宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度</p>			

海軍公報(部内限)第三千七百號 昭和十六年一月十八日

0553

部 隊 名		郵 便 物 宛 名	期 間	記 事
第六根據地 隊司令部	海軍水雷學校氣付 八代部隊		當分	一、公文書ニハ部 隊名ハ絕對ニ之 ヲ表示セザルコ ト
第六防備隊	海軍水雷學校氣付 小原部隊		當分	二、個人宛私文書 郵便物宛名ハ上 記ノ外氏名ヲ記 スコト
第十九航空 隊	橫須賀海軍航空 氣付竹内部隊			
第六通信隊	海軍水雷學校氣付 牛尾部隊			
(第六根據地隊)				
<p>○書類發送ニ關スル件 當隊ハ本部ト分遣隊トニ別レ居ル關係上自今當隊宛書 類ハ左記ニ依リ各別ニ發送相成度 記</p> <p>本隊宛 橫須賀郵便局氣付 五〇四四 分遣隊宛 同 七〇四四 (第四防備隊)</p>				
<p>○事務開始 第十六掃海隊ハ一月十五日閣部九ニ於テ事務取扱ヲ開 始セリ</p> <p>○事務所撤去 第三砲艦隊準備員事務所ヲ一月十五日撤去セリ</p>				

追テ當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度
隊、司令、軍醫長、主計長宛 東舞鶴郵便局氣付 南浦丸
木曾丸
機關長宛(當分ノ間) 同
(第三砲艦隊)

0554

(別表)

(昭和十六年一月十八日海軍公報(部内限))

考 備	品 名		日 額	日 額	日 額	日 額	日 額	日 額	備 考
	(一)	(二)							
一、本表ノ糧食ハ食料ノ支給ヲ受クル者ニハ之ヲ給與セズ 二、本表ノ量額ハ最上限ノ給額ヲ示ス 三、本表ノ梅干、生果物ノ増給ヲ受クル者ニハ海軍給與令施行細則第二十表備考第八號、第八號ノ 二又ハ同第二十表ノ二備考第四號、第五號ノ規定ニ依ル梅干、生果物ヲ増給セズ 四、(二)欄該當ノ増給ハ一日十四時間以上當直勤務ニ服シタル場合ニ限ル	罐詰牛乳	旬額 四〇〇瓦 (西瓜ハ八〇〇瓦)	罐詰牛乳	旬額 三〇瓦	罐詰牛乳	旬額 三〇瓦	罐詰牛乳	旬額 六〇瓦	(一) 支那若ハ佛領印度支那又ハ其ノ 治岸並ニ北緯二十度以南ノ 地域ニ在ル艦船部隊 (二) 上記以外ノ地域ニ在ル 艦船部隊 記 事
	生 牛 乳	日額 〇・一八立	ノ内一種	生 牛 乳	日額 〇・一八立	ノ内一種	生 牛 乳	日額 〇・一八立	
	鶏 卵	日額 六〇瓦							
	水	日額 二五〇瓦							
	乳 酸 飲 料	日額 〇・〇六立							罐詰甘酒五六瓦又ハ飴湯ノ素 四〇瓦ニ換給スルコトヲ得
	紅茶、ココア 又ハ 白 砂 糖	日額 五瓦 日額 二〇瓦							
	罐詰牛乳	日額 三〇瓦							罐詰果物三〇〇瓦ニ換給スル コトヲ得
	生 果 物	旬額 四〇〇瓦 (西瓜ハ八〇〇瓦)							
	梅 干	日額 二〇瓦							

0555

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月十八日午前十時

【横須賀】

山城▲赤城▲劍埼▲春日▲駒橋、

神威、龍田、天龍

曙▲潮▲龍▲雷▲電、澤風

伊六▲

宗谷、尻矢、攝津

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲

(伊三三)▲

【長浦】

國後

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜二三

【横濱】

(香椎)▲(筑紫)▲

【浦賀】

(萩風)▲(濱風)▲

【鳥羽】

多摩

【大湊】

哨三四▲哨三五▲

【吳】

淺間、妙高▲扶桑▲勝力▲三隈

霧雲▲伊吳竹、早苗、若竹

伊五三▲伊五八▲伊六一▲伊七一▲

伊七三

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

【大阪】

櫻野▲間宮

球磨▲

隱戸▲

(谷風)▲

大井▲

(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲

(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月▲

八雲

呂五七▲呂五八▲呂五九▲

鬼怒

伊一三三、伊一二二

驅潜五二、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾▲

嵐▲

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黒▲金剛▲榛名▲瑞鳳▲衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲伊三九▲

伊六〇、伊五九▲伊六五▲伊六八▲

哨三八、哨三九▲

敷島▲

(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲

野島▲

沖風

【長崎】

野島

【古江】

沖風

海軍公報(部内限)第三千七百號

昭和十六年一月十八日

七三

0556

【鎮海】朝顔、芙蓉

【作業地】出雲、伏見、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、

勢多、堅田、保津、阴田、橋立、口足柄、占守、嵯峨、口名取、口磐手、口長門、陸奥、日向、伊勢、口比叡、霧島、口加古、古鷹、青葉、口阿武隈、口川内、口龍驤、鳳翔、口千歳、口代田、口瑞穂、口高雄、愛宕、鳥海、摩耶、口那智、口熊野、口鈴谷、最上、利根、筑摩、口神通、口那珂、口加賀、口飛龍、口蒼龍、口白鷹、口蒼鷹、口鹿島、口沖島、口常磐、口夕張、口迅鯨、口香取、口大鯨、口長鯨、口五十鈴、口嚴島、口八重山、口北上、口由良、口能登呂、栗、梅、蓮、刈萱、峯風、口春風、旗風、松風、朝風、口文月、口旱月、水無月、長月、口若葉、口初春、口初霜、口白日露、時雨、有明、口夕暮、口初雪、口白雪、吹雪、口白雲、東雲、叢雲、口綾波、浦波、磯波、敷波、口夕霧、狭霧、天霧、朝霧、口秋風、羽風、口太刀風、口帆風、口沙風、口菊月、口卯月、口夕月、口追風、口疾風、口朝風、口響、曉、口漣、口早潮、口夏潮、口親潮、口黒潮、口初風、口雪風、口天津風、口時津風、口叢、口陽炎、不知火、口夕立、口村雨、口春雨、口五月雨、口朝雲、口山雲、口峯雲、口夏雲、口海風、口涼風、口江風、口山風、口大湖、口荒潮、口滿潮、口朝潮、口睦月、口如月、口望月、口彌生、口矢風、口呂三四、口呂三三、口呂六二、口呂六〇、

【航海中】

早鞆 (十二月十一日桑港發—佐世保へ)
石廊 (十二月十七日桑港發—吳へ)
知床 (十四日横須賀發—佐世保へ)
沼風、野風、波風、伊五二 (十六日大湊發—陸奥海灣へ)
大泊 (十七日大湊發—小樽へ)

呂六一、口呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、口伊二、伊一、伊五、伊三、伊四、伊七、伊八、口伊一五、伊一六、伊二〇、口伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、口伊六二、伊六四、伊六六、口伊六九、伊七〇、口伊七二、伊七四、伊七五、口初雁、真鶴、口雁、鳩、鷺、雉、口初雁、真鶴、友鶴、千鳥、掃一七、掃一八、口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、口掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、口驅潛一、驅潛二、驅潛三、口驅潛四、驅潛五、驅潛六、口驅潛七、驅潛八、驅潛九、口驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、襟裳

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千七百一號

海軍大臣官房

昭和十六年二月二十日(月)

○ 辭 令

軍令部部員陸軍中佐 吉川 猛
第四部第九課勤務ヲ命ス(陸軍省軍令部)

陸軍中佐 吉川 猛

通信部第九課勤務ヲ命ス(陸軍省軍令部) 大本營海軍部)

海軍主計中尉 山中清一郎

第三課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

海軍少佐 室井拾治

總務部第一課勤務ヲ命ス

海軍機關大佐 近藤 一馬

(各通) 同 伊澤 達雄

在東京監督長ノ命ヲ承ケ承務スヘシ

海軍技師 關口 武夫

自今在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關中佐 染原 陸美

在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上)

海軍航空本部)

海軍兵學校ニ於ケル劍道助教囑託ヲ解ク(海軍兵學校) 森 昌一

○ 雜 款

○將旗掲揚
第十一航空艦隊司令官(長)ハ一月十六日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ニ掲揚セリ

○將旗一時移揚
吳防備戰隊司令官ハ一月十六日將旗ヲ一時第四十六號哨戒艇ニ移揚セリ

○將旗復歸
第二遣支艦隊司令長官ハ一月十六日將旗ヲ足柄ニ復歸セリ

○司令驅潛艇指定
第五十六驅潛隊司令ハ一月十五日司令驅潛艇ヲ第五壽

海軍公報(部内限)第三千七百一號 昭和十六年一月二十日

七五

0558

丸ニ指定セリ

○司令掃海艇指定
第十六掃海隊司令ハ一月十五日司令掃海艇ヲ園部丸ニ
指定セリ

○司令砲艦指定
第二砲艦隊司令ハ一月十六日司令砲艦ヲ萬洋丸ニ指定
セリ

第三砲艦隊司令ハ一月十七日司令砲艦ヲ阿蘇丸ニ指定
セリ

○特務艦尻矢行動豫定

地名	着	發
横須賀	一月二十一日	一月二十一日
川崎	一月二十六日	一月二十三日
吳	一月二十九日	一月二十八日
下松	二月二日	一月三十一日
舞鶴	二月七日	二月四日
吳	二月十一日	二月八日
横須賀		

0559

○艦船所在 印(ハカ)ノ
指定ヲ要セズ

○一月二十日午前十時

【横須賀】

山城▲赤城▲劍埼▲春日▲駒橋、

神威▲龍田▲天龍

曙▲潮▲朧▲雷▲澤風

伊六▲

宗谷▲尻矢▲攝津

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲

(伊三三)▲

【長浦】

磯風▲浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜一三

哨一

(香椎)▲(筑紫)

(萩風)▲(濱風)▲

鳥羽▲

哨二

伊五二

哨三四▲哨三五▲

哨三

哨四

淺間▲妙高▲扶桑▲勝力▲三隈▲八雲、

鬼怒

薄雲▲吳竹▲早苗▲若竹

呂五七▲呂五八▲呂五九▲伊五三▲

伊五八▲伊六一▲伊七一▲伊七三、

伊一二三、伊一二一

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

櫻野▲問宮

(日進)▲(伊九)▲(伊二七)▲(伊三五)▲

球磨▲

隱戸▲

(谷風)▲

大井▲

(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲

(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月▲

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾▲

嵐▲

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲金剛▲榛名▲瑞鳳▲衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲伊三九▲

伊六〇▲伊五九▲伊六五▲伊六八▲

哨三八▲哨三九▲

敷島▲

(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲

野島▲

沖風▲

0560

【鎮海】朝顔、芙蓉
【作業地】出雲、伏見、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、網田、橋立、足柄、古守、嵯峨、名取、磐手、長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、加古、占鷹、青葉、阿武隈、川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、沖島、常磐、夕張、迅鯨、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良、能登呂

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、太刀風、夕風、帆風、沙風、秋風、羽風、夕月、追風、疾風、夕風、朝風、響、曉、電、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、雪風、天津風、時津風、散、霞、陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、睦月、如月、望月、彌生、矢風、呂三四、呂三三、呂六二、呂六〇

【航海中】

早鞆 (十二月十一日桑港發—佐世保)
石廊 (十二月十七日桑港發—吳)
知床 (十四日橫須賀發—佐世保)
神風、沼風、野風、波風 (十六日大湊發—陸奥海灣)

呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、伊二、伊一、伊五、伊三、伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、伊七二、伊七四、伊七五
初雁、真鶴、友鶴、千鳥
鴻、隼、鴨、鶺鴒、鳩、鷺、雉
掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二
明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、襟裳

0561

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年一月二十日(月)
海軍大臣官房

0562

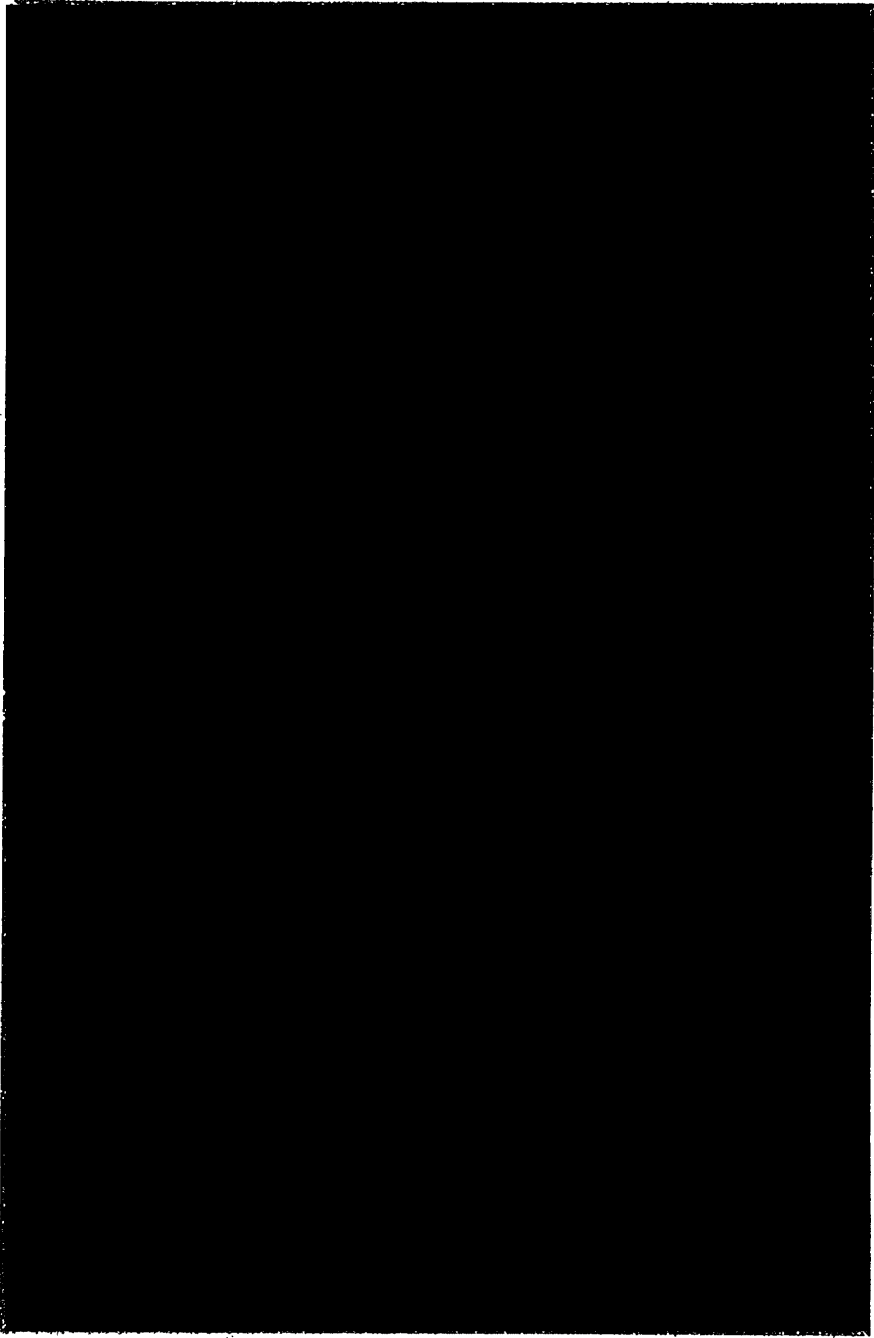
○懲罰

懲罰言渡書

○雜款

海軍公報(部内限)號外

海軍公報 (部内限) 號外



二

0563

海軍公報 (部内限) 號外

三

0564

海軍公報 (部内限) 號外

四

0565

海軍公報 (部内限) 號外

五

0566

海軍公報 (部内限) 號外

六

0567

海公軍報 (部内限) 號外

七

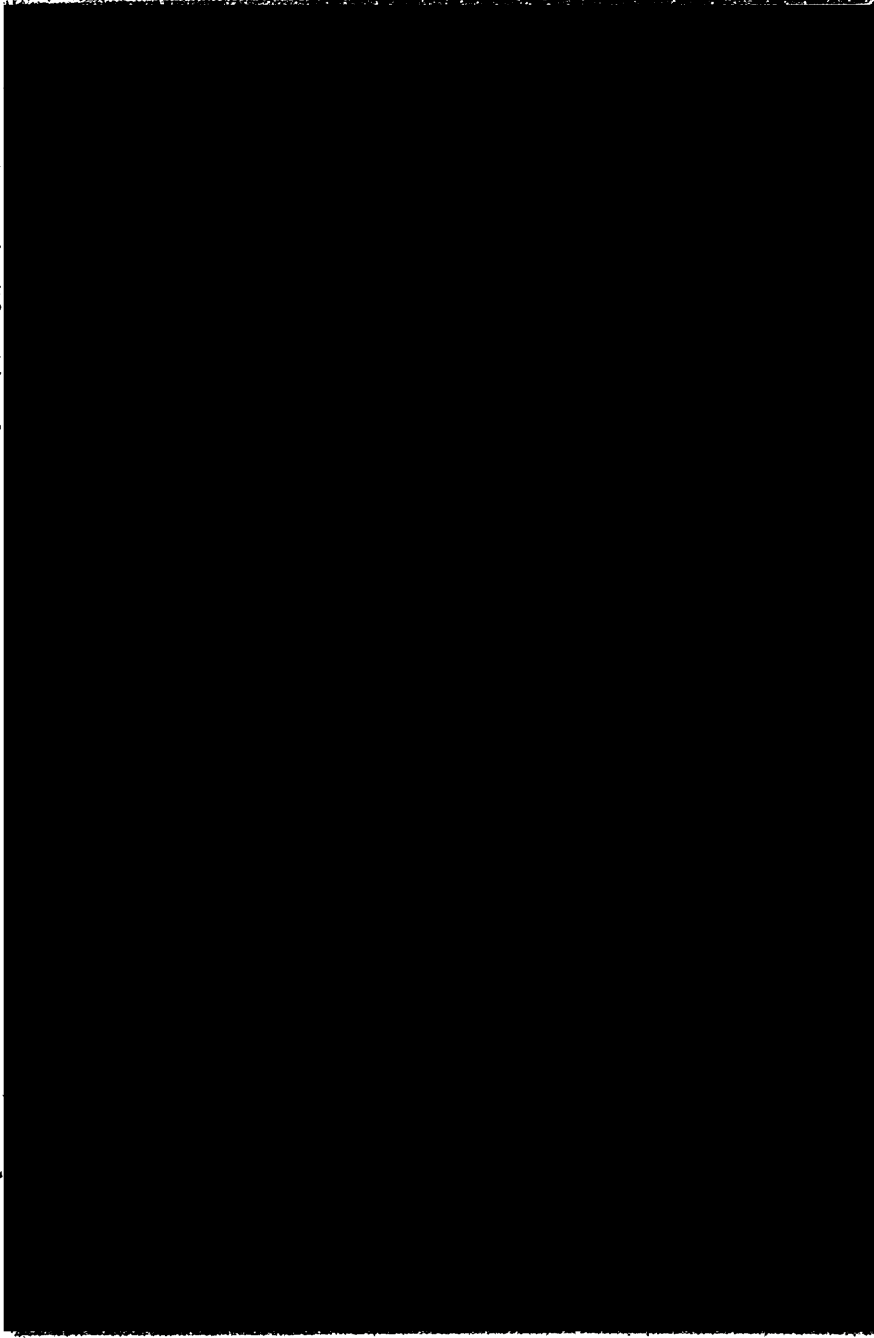
0568

海軍公報 (部内限) 號外

八

0569

海軍公報 (部内限) 號外

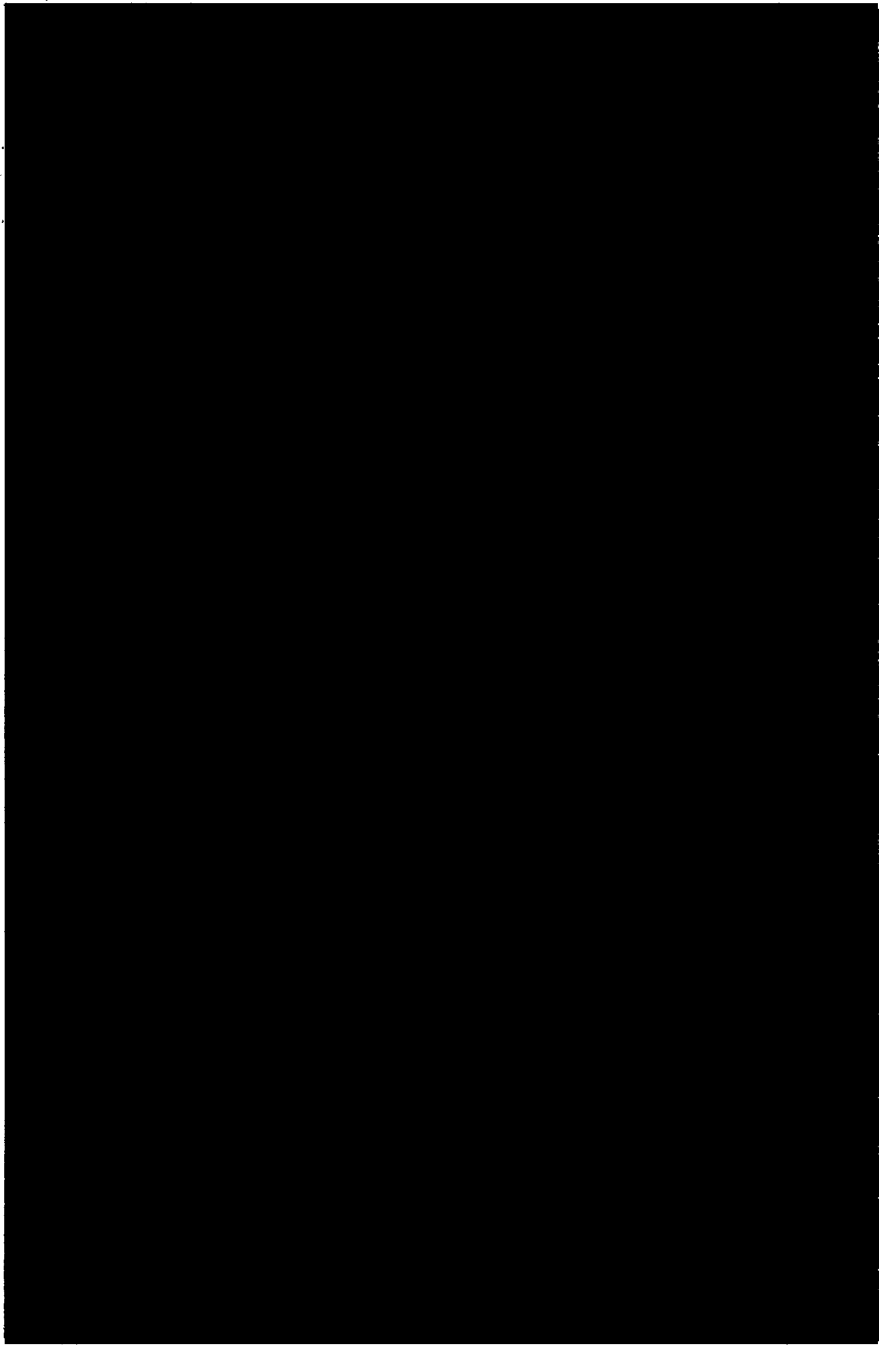


0570

海軍公報 (部内限) 號外

0571

海軍公報 (部内限) 號外



0572

海軍公報 (部内限) 號外

一三

0573

海軍公報 (部内限) 號外



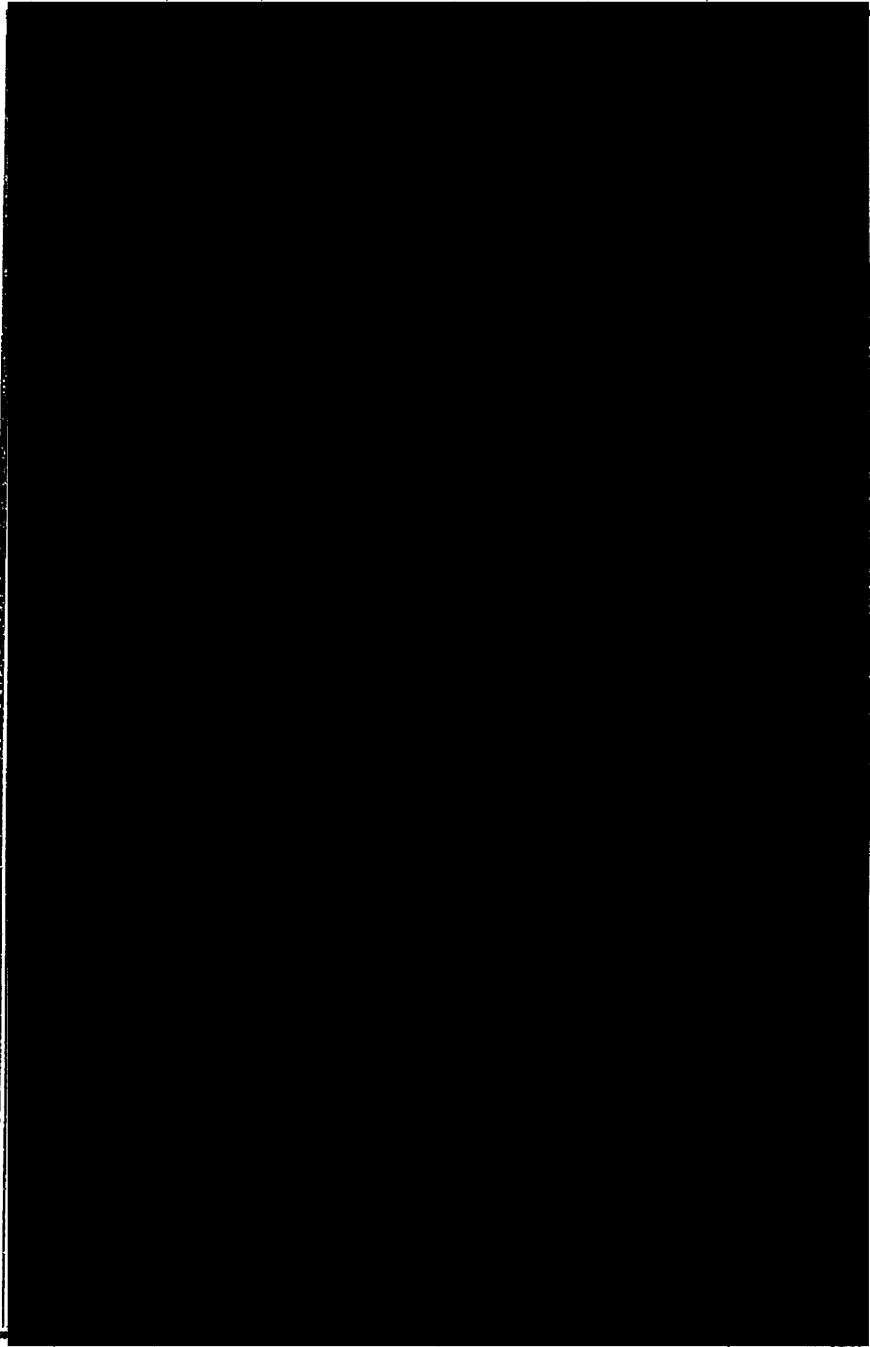
0574

海軍公報 (部内限) 號外

一四

0575

海軍公報 (部内限) 號外



一五

0576

海軍公報 (部内限) 號外

一六

0577

海軍公報 (部内限) 號外



0578

海軍公報 (部内限) 號外

一八

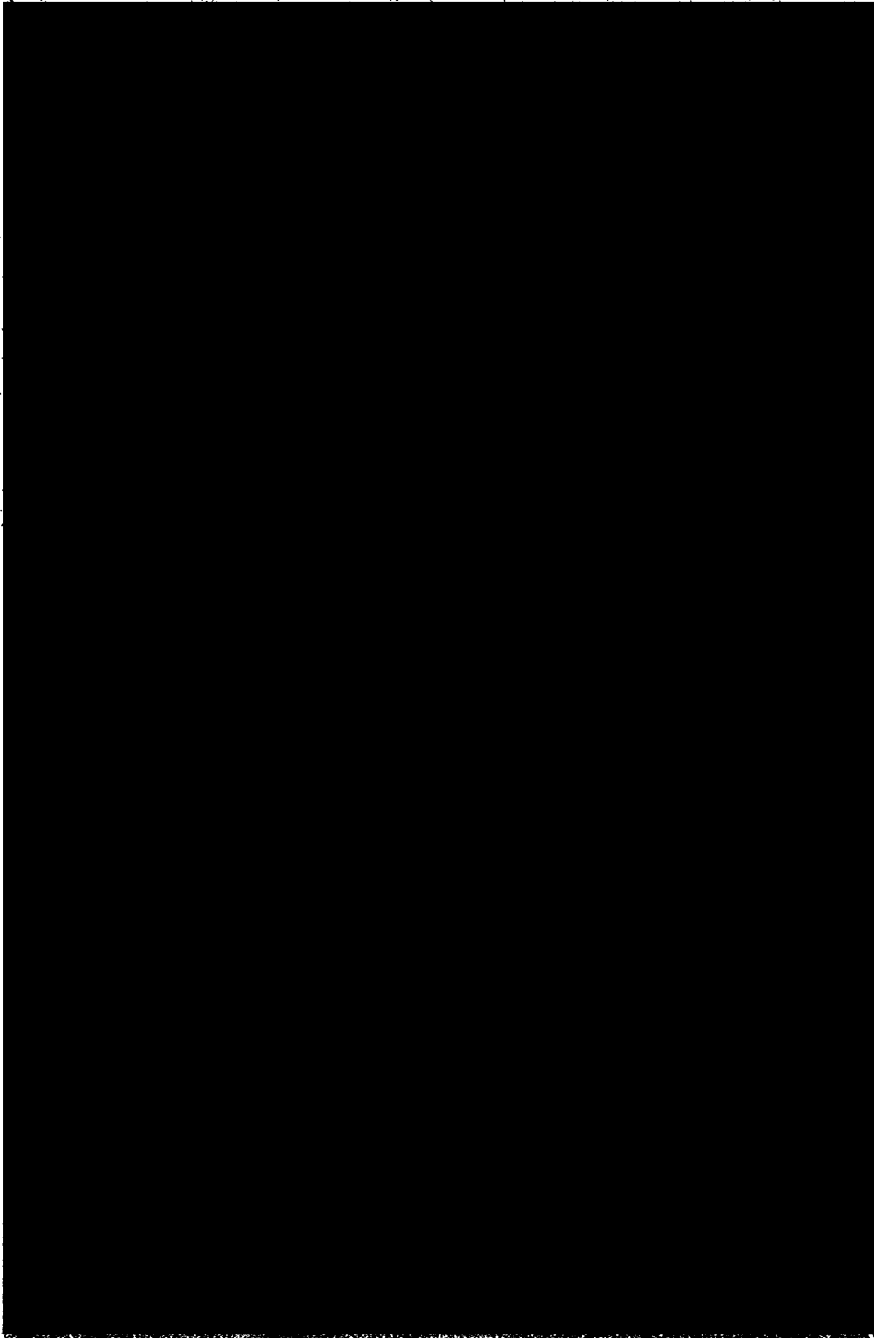
0579

海軍公報 (部内限) 號外

一九

0580

海軍公報 (部内限) 號外



二〇

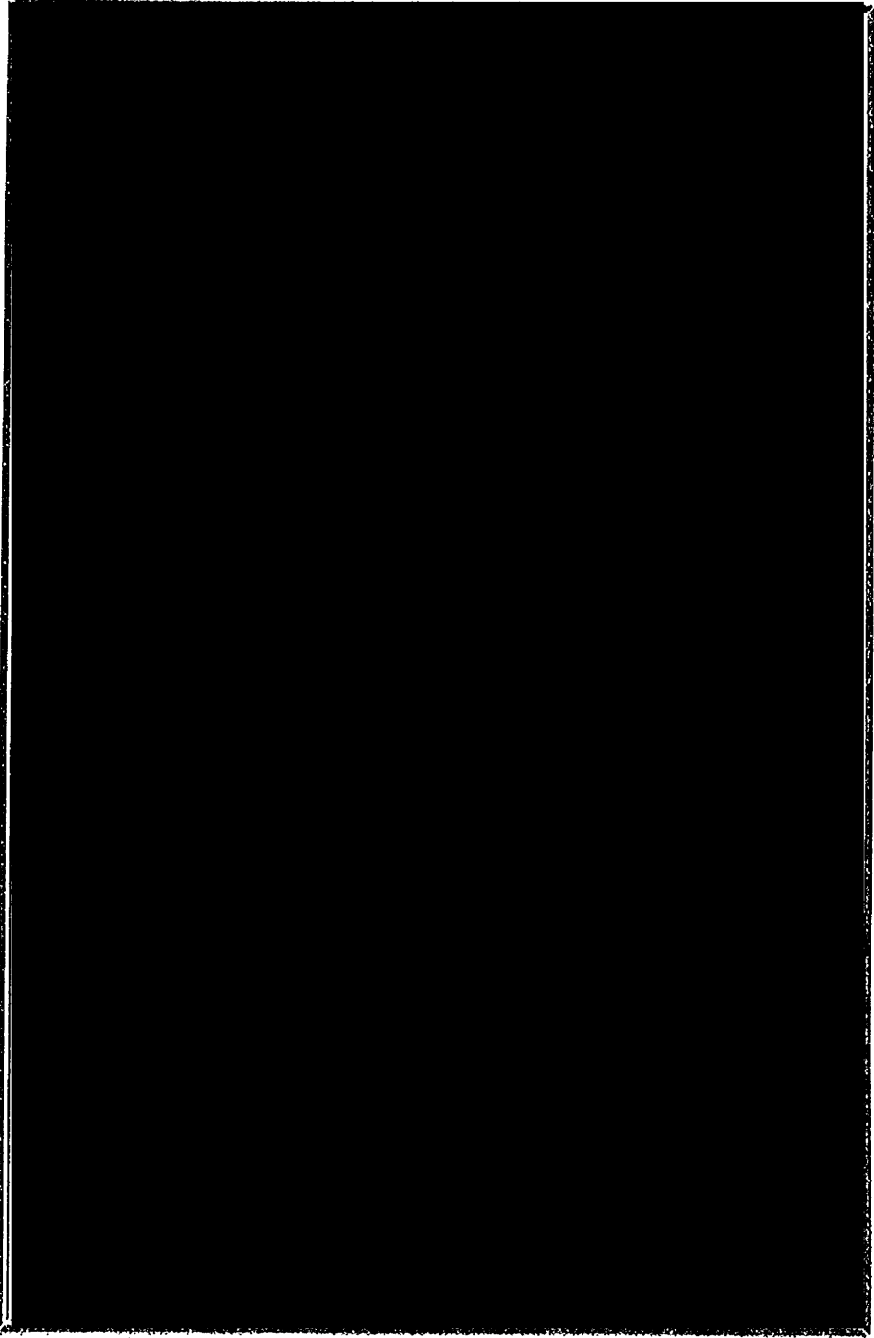
0581

海軍公報
(部内限)
號外

二二

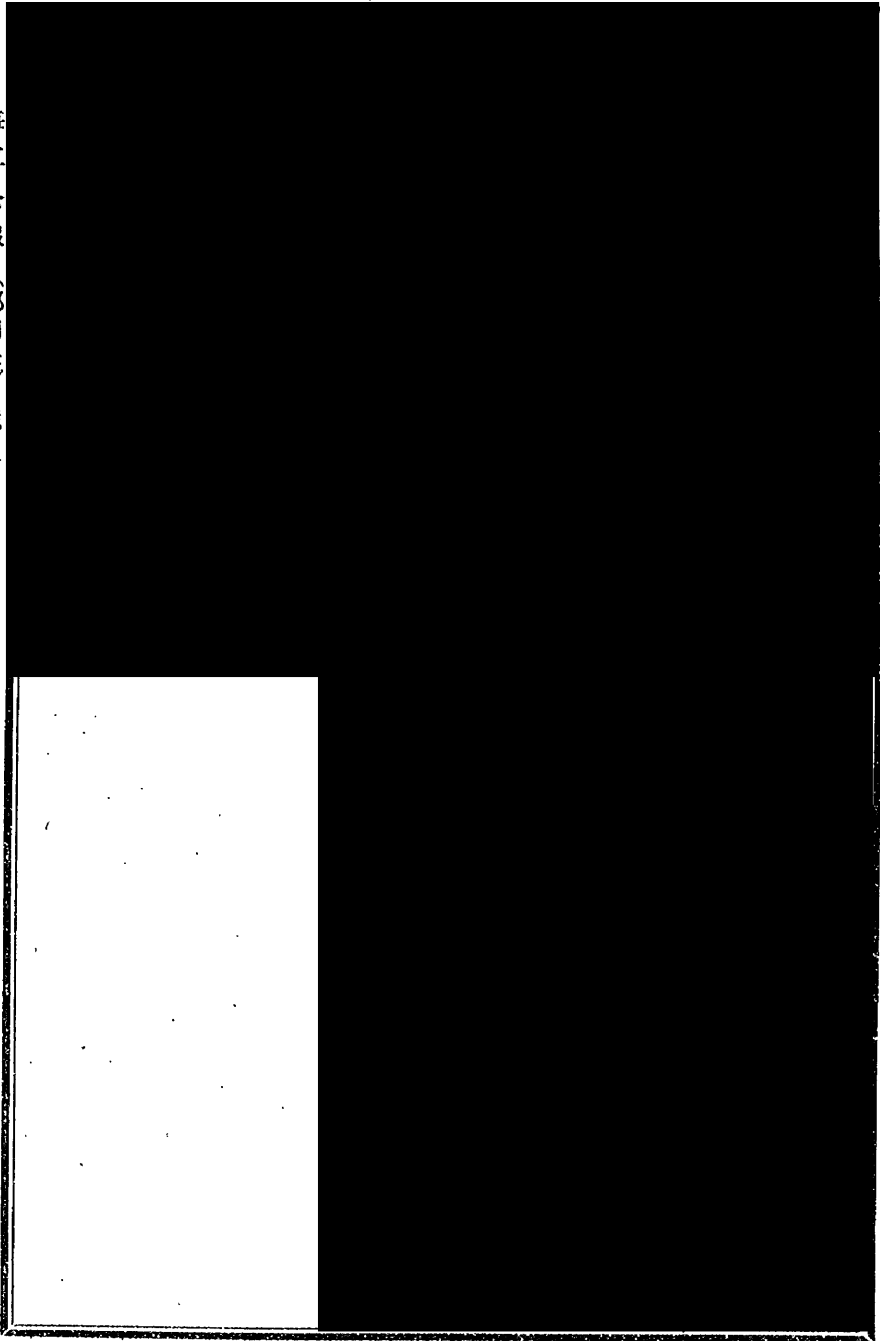
0582

海軍公報 (部内限) 號外



0583

海軍公報 (部内限) 號外



三三

0584